

公益社団法人岡山青年会議所 新長期ビジョンについて

公益社団法人岡山青年会議所
長期ビジョン推進会議

長期ビジョンの経緯

1999年 「ドファラのまちづくり」

2004年 「～事業から心の育成へ～ ハードから、ハートへ。」

We Love OKAYAMA

愛される街「岡山」を目指して

2009年 ハートフルネットワーク『おokayama』

郷土を愛する人の輪＝ハートフルネットワークの拡大

長期ビジョン作成の方向性

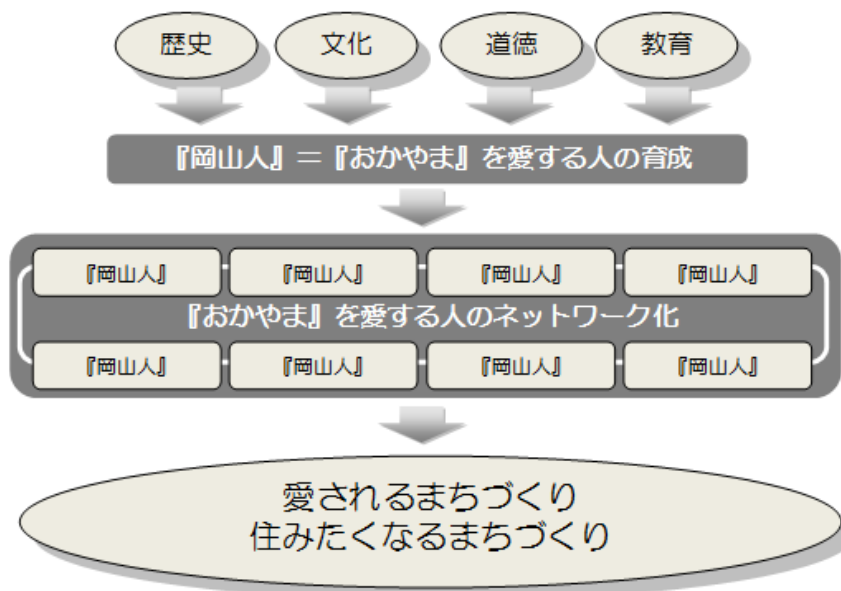
- 時代の変化がスピードアップする中、常に新しい時代に適応していくために長期ビジョンの設定期間は**5年間**とする。
- 岡山JCのあるべき姿を原点に戻って構築し、**基本に立ち返って**ビジョンを策定する。

2014年までの長期ビジョン

【長期ビジョンスローガン】

ハートフルネットワーク『おかやま』

郷土を愛する人の輪 = ハートフルネットワークの拡大



現在の長期ビジョンの振り返り(1)

「うらじゃ」の企画・運営・実施・参加を通じ『おokayama』を知り、『おokayama』を誇りに思い、『おokayama』のこれからを考え、『おokayama』を自慢する人たちを育成し、ネットワーク化する。

→ 2013年うらじゃ参加者 6,900名(153連)

→ 岡山市民の祭りとして定着！



現在の長期ビジョンの振り返り(2)

- ・「岡山UC(ユナイテッドチルドレン)」事業支援を通じて、自ら考え、行動する青少年の育成の一助とする。
- ・「うらじゃ」をコアにした事業や、公益社団法人化に伴う新規事業企画・立ち上げ～実施～検証
→ 青少年育成事業を通じて「自ら考え、行動する青少年」を育成してきた。

2011年:おかやま未来創造プロジェクト

2012年:絆つながる サマーキャンプ2012

2013年:キッズスポーツ未来塾 × BOSAI体験競技

2014年:キッズビジネスタウン

長期ビジョンに求められるもの

- 愛される街、岡山になるためには、岡山を愛する人々を増やすことが必要不可欠です。
- 世代を超えた地域の人々に、あらゆる側面で「岡山の姿」を知り、岡山を誇りに思い、岡山を自慢する人々を育成していくことです。
- 世代を超えた地域の人とともに、JCメンバー自身も人として成長していかななくてはなりません。
- 岡山を愛する人、そしてJCメンバーの成長、そんな「ひとつづくり」の実践の機会として様々な事業展開していく必要があると考えます。

新長期ビジョンスローガン

心から心の育成

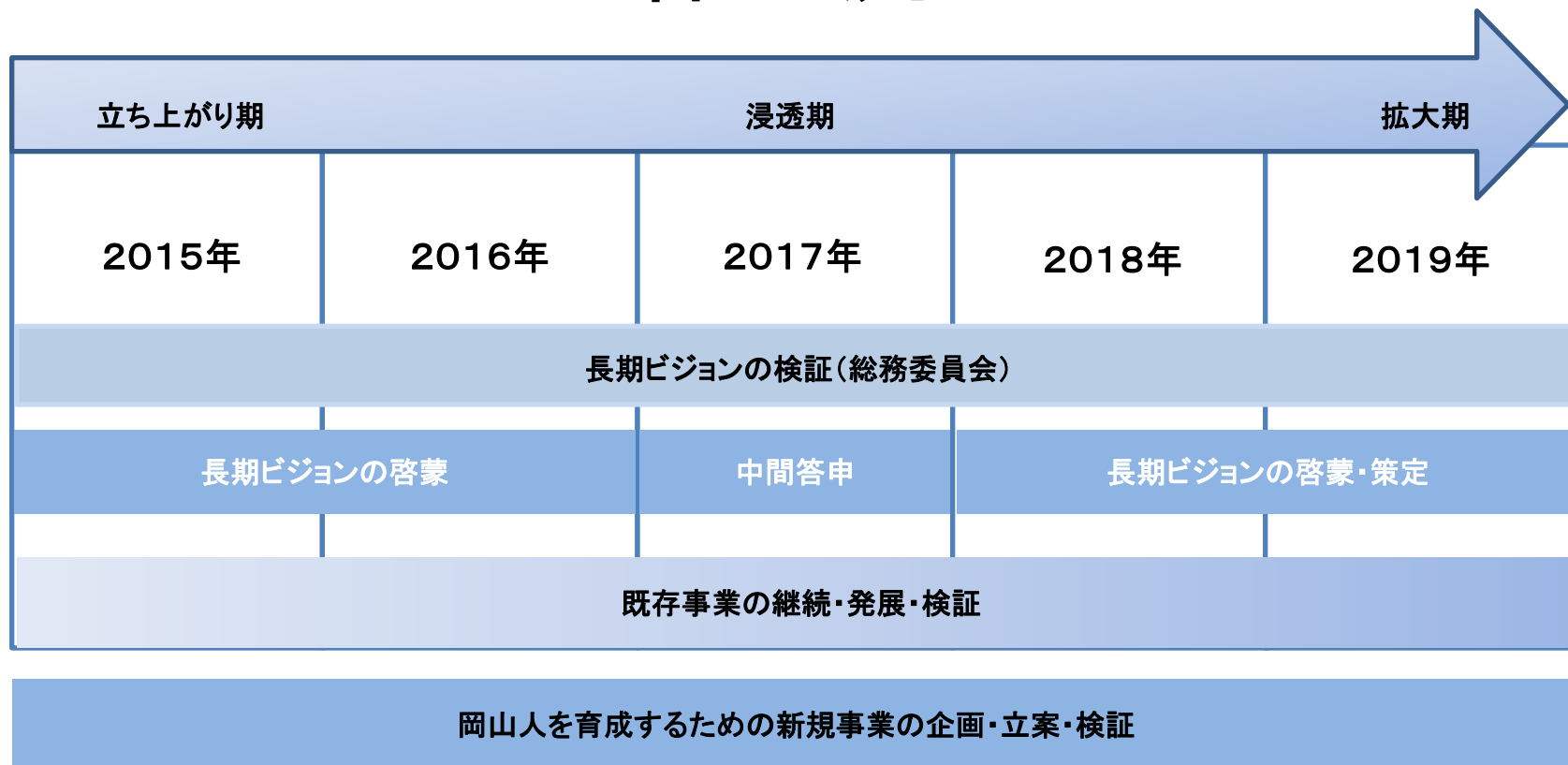
ハートtoハート 『おokayama』

～世代を超えた岡山人の伝承へ～

長期ビジョンの考え方



長期ビジョンアクションプログラム 全体の流れ



長期ビジョンアクションプログラム 事業の展開

- 年間10名以上の純増を目指し、2019年当初120名の会員を得ることを目標とする。
- 市民・他団体との連携を模索しつつ事業の企画・運営を行う事により、様々な世代との交流を通して『岡山人』育成の一助とする。
- 「うらじゃ」への協力を行う。

長期ビジョンアクションプログラム 中間答申と検証

※ビジョン推進会議の設置

2017年に中間答申として2015年、2016年における事業に対する検証を行う。

2018年、2019年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョン達成した点、達成しなかった点について記載し事業後の検証を行う。
また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。